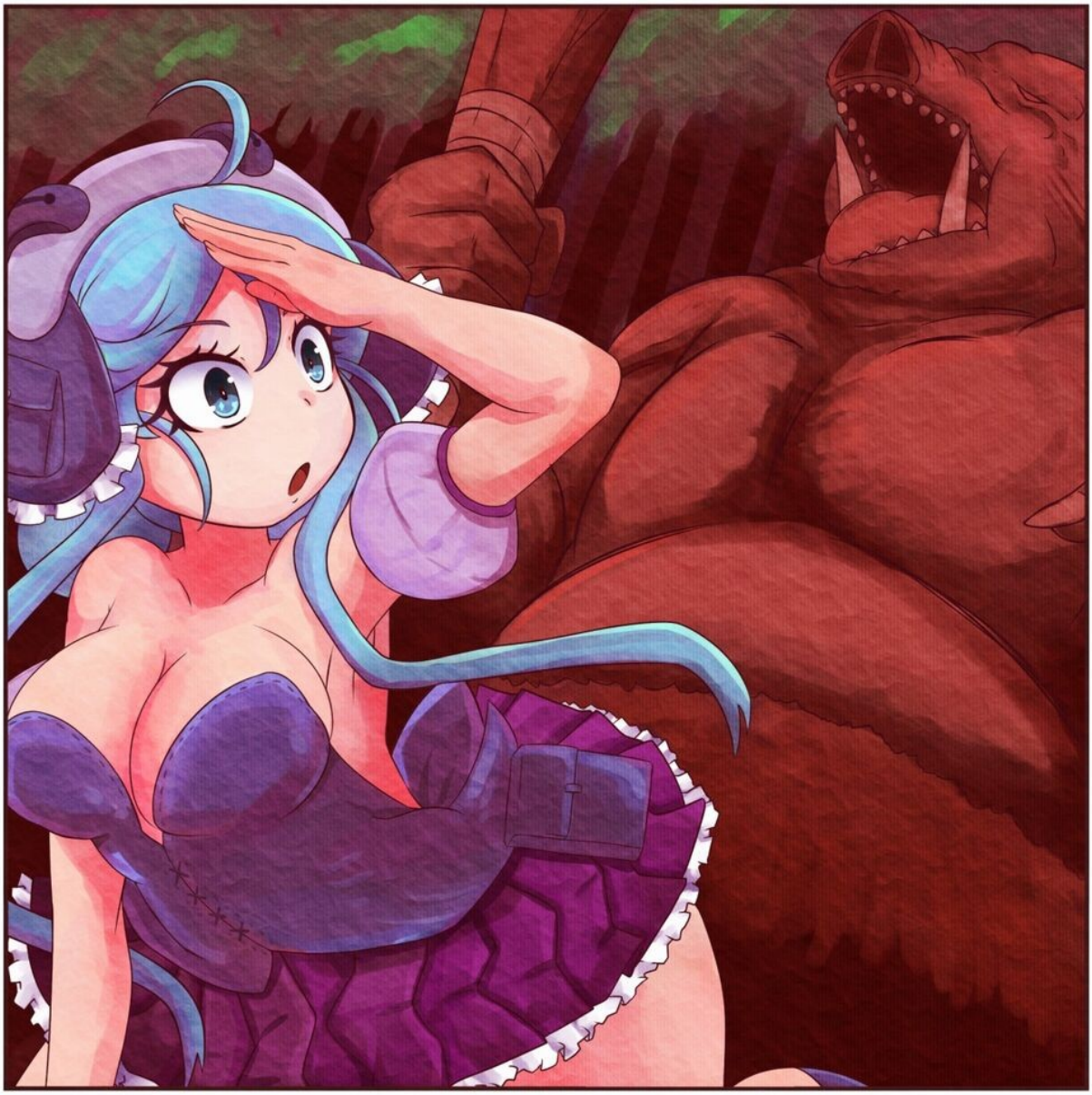
幻想妖媚録

genso yobi roku

オーグ

DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止



オーク♂

体長

一般的な雄の成人個体
身長：150～230cm程
体重：120～300kg程

ロードやキングと呼ばれる
特殊な個体
身長：280cm以上
体重：400kg以上

生態

豚のような頭部と大柄な体躯を持った
人型のモンスター・豚男
性質は凶暴であり、その行動理念は
暴力・食欲・繁殖欲に支配されている

動物よりも人に近く、モンスターとしては
比較的高い知能を持つが
その知性の使い道は自身の破壊的な欲望を
満たすための行動に繋がるものに限る

食料調達や繁殖のため
人間やその集落をたびたび襲う

生息

森・山岳・洞窟・遺跡等
食料調達が可能な場所であれば
幅広く生息している

群れで行動・生活するのが一般的だが
個体で動く所謂「はぐれ者」も多い

はぐれ者は生き残るためか
一般的なオークより知能が高く
狡猾である

食性

動物の肉を好んで食べるが
人間が食用とする植物やキノコ類も
消化可能であり基本的に雑食である

一部の毒物には耐性があり、
消化器官も頑丈なため
食べ物からダメージを被ることは少ない

しかし十分に活動するためには量が必要であり
多くの群れがしばしば食糧の調達に
頭を悩ませている

文化

行動の殆どは本能に従ったものであり
所謂文化的な生活習慣はない
しかし火はあまり恐れていないため
食料を焼いたり
明かりを灯したりすることはあるようだ

同族に対しては一定の仲間意識があり
練度の高い群れはしっかりと連携を行い
高い戦闘能力を持つ

手先は見かけによらず器用だが
自身で何か作り出すことはあまりなく
道具はもっぱら拾ったものを使用する

金属製の武器や防具を装備した個体もいるが
基本的にそれらは人間のから奪ったものである

戦闘

体質的に脂肪が多く一見鈍重に見えるが
筋肉も発達しておりさほど動きが鈍いわけではない
生命力も高く見た目通り打たれ強いため
一般的な人間の大人が太刀打ちするのは難しい

残忍な性格は戦闘においても健在で
相手を選んで手加減をするようなこともなく
全力の一撃を受ければ並の人間は即死する膂力がある

オークの基本行動理念は
暴力・食欲・性欲である
頻繁に家畜を襲う他
繁殖の相手として主に人間のメス
すなわち女性を相手としており
所謂人さらい行為を頻繁に行う
そのため一般には極めて
危険で厄介なモンスターとして
認識されている

ゴア…ガ…

ブギィイイッ

く……っ

ゲッ

ゲッ

ゲッ

ザッ

ガッ

バッ

ガアアアアッ!!

ざ
しゅっ
!
ゴ
ゴ
ガン

……
あ……
う……
ブ
ぶれれ…
グニッ
バギッ
ビリッ
バッ
フゥ
フゥ
ビキ…
ビキ…

はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
ぐにゅっ
カプッ♡
ぎ……っ!?
ズッ
ぶっ
ちっ!!!
うぎひぃっ!?
びくんっ
ぎっ
めりっ♡
ぎっ
はっ
はっ
はっ
はっ
ぎくっ
ボ
ドちゅっ
ドちゅっ
ドちゅっ
みりっ♡
ぎっ

優れた戦士であっても
オークの強力な一撃を
避け損なえば
容易く昏倒してしまう

そしてその体重差と筋力で
身体を抑え込まれてしまうと
もはや抵抗もできない

はっ
はっ
ひい……っ
や……っ！
ぐっ
ぎっ
ぎっ
やっ…だ…っ
やめ……
ぎっ
ぎっ
ぎっ
ぎっ
ごっ
ごっ
ごちゅっ♥
ひっぎっ
ずっ
ずっ
ず

おっ
ドクッ
ドクッ
ドクッ

……ぐっ
く…そ…っ
こ…殺す…
はっ
はっ
はっ
絶対…こ…ろ…
もぞっ
トプ…♥
ごっ
!!
ズ
あ……
あぐるっ
オークのまぐわいは
激しく凄惨なものであるが
あくまでも目的は
繁殖であるため
メスの身体を痛めつける
行いは最小限に留まる
ぎっ
ぎっ
パンッ
パンッ
じゅぷっ♥
じゅぷっ♥
パンッ
パンッ
ごっ
おっ
はっ
はっ
はっ
おっ♥
おっ♥

ずる…

ず…っ

頑丈なメスは特に彼らに好まれ
大量の「洗礼」を受けた後
巣に連れて行かれる
メスは群れの共有財産となり
死ぬまで豚男どもの苗床となる

一匹で行動するはぐれオークは無差別に襲うより計画的に行動するものが多い

うん…♪

今日はこのくらいあれば足りるかな？

ちゃっ。

目当てのメスを自分の意志で選ぶ事もあるという

ガサ…

貴重な薬草だけど…この辺穴場なんだよね

ズ

！

モンスター…!?
なんでこんな所に…っ
誰か…!
ドッ
きゃっ!!
とすん
ザザ…
ぶるっ
ぶるっ
……っ!
ガッ
ぶんぶん
ひっ…
ぞわっ
すんすん
ひいっ!!!

や…やだ…っ！

だめ…っ
誰か…誰か助けてぇっ！

こわい怖いっ
いや…いや…っ

ばた
ばた
くっ
ぐっ
ぐぢっ
ぐぢっ♡
ぐぢっ♡
ぐぢっ♡

ひ…っ
ずにゅるるっ
ぶっ
ぶっ
ぶ

オークの射精は家畜豚のそれと同じように溢れるほど大量の精液をメスの子宮に送り込む

秘所を肉竿で貫通されオークとまぐわった少女の肚は例外なくその豚男の子種で汚染される

この汚染されるという表現は比喩ではない

ぶんオっ

おっ

ドクッドクッ

ドクッ

びちゃっ

びちっ

どろっ

おっ

おっ

ぴくっ

ぴくっ

おっ

ぴくっ

おっ♥

びゅくっ

びゅくっ

びゅくっ

ごっ

ごっ

おごっ♥

しっ

おっ♥

ほっ♥

ぶりっ♥

ぶ…

ほ…♥

はっ

はっ

はっ

はっ

あぁ…っ♥

おい！誰かモンスターに襲われてるぞ！

あれ 薬草屋の娘じゃねーか!?

ガサッ

!!

あ…逃げたぞ！

追いかけるか…!?

ダッ

へぢょ…

いやまて
それより娘を…

…こりゃひでぇ…
大丈夫か…？

どろぉ…

ぴくっ

とぷ

とぷ

ぴくっ

う……

パ…パ……？

よかった
気がついたんだな…

…もう一人で
森に行っちゃ
ダメだぞ…？
とりあえず
…ゆっくり安め

うん……

……

ズクッ…ッ

オークの精液には
強力な催淫効果があり
身体の粘膜 特に女性の子宮から
吸収されることで
その効果を最大限に発揮する

ドクン

ドクン

一節によれば
適齢期になっていない
少女ですら発情させ
排卵させて豚の子を
妊娠可能にしてしまうと
言われている

オークの強烈な種付けを受け
子宮が子種で満たされてしまうと
その時のオークとの性行為を
強烈な快楽として
女性器が記憶してしまう様だ

トプ…♡

とろ…

じきに頭では拒否しても
常に性行為を意識し
獣のような交尾に耽る事を
期待するようになるという
オークに種付けされた少女は
オークにとって都合の良い
オークのための雌となる

ふら…

ふら…

更に豚男共の種を受精し
着床してしまった場合
身体にはさらなる変化が起きる

ああ…わかる…

はあ

はあ

あの獣の…豚の…
雄の臭いがする

あ…あぁ…パパ…
ごめんなさい
わ 私…きっと…また…

ハァ
ハァ

身体の感覚が鋭敏になり
特に嗅覚が常人のそれとは
比較に為らないほど
働く様になる

!!!

自分孕ませた雄の匂いを
嗅ぎ分けることまで
出来てしまい
その相手に
愛情のようなものすら
抱いてしまうらしい

単体で行動するオークは
主に一匹のメスを自分の所有物とし
常に子を孕ませ続ける
孕んだオークの子の生育は
非常に早く
およそひとつき程で出産する
やがて
それらの子オーク達が育ち
新しい群れとなる

ほとんどのオークは人間の使っていた武器・防具を使いこなすが
金属製の良質な武具を新しく作る様な技術はない
しかしある程度の修復は
頭の良い個体ならば可能な模様

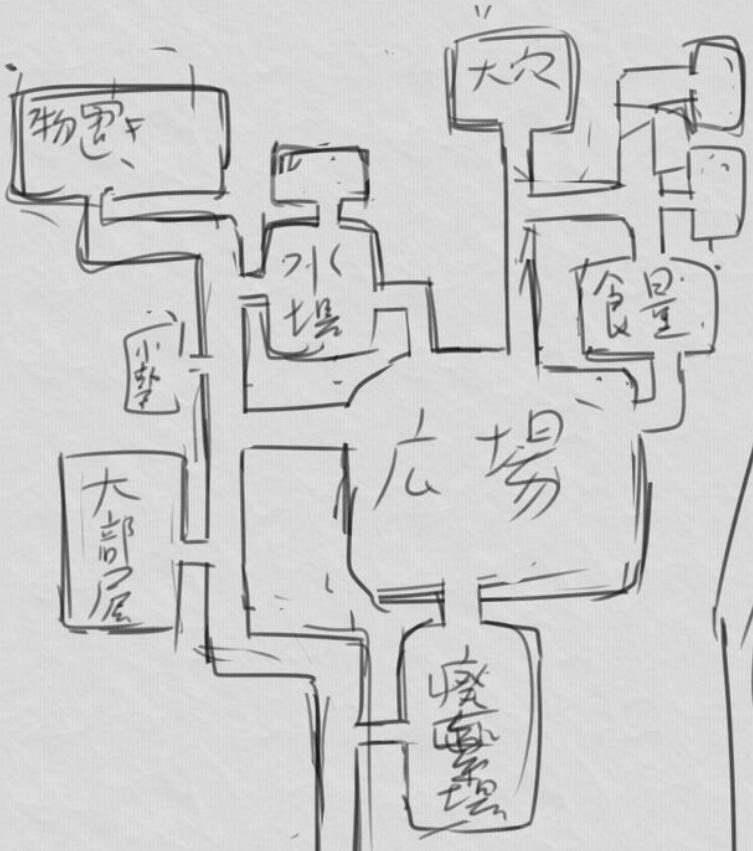
オークの使う道具

オークが作った棍棒

取っ手に布が巻かれている

折れた剣を使用して作られたオークの槍

人間から奪った装備を有効利用しているようだ



遺跡などを除けば
オークは洞窟を住処としている場合が多い

洞窟の中は入り組んでいる
オークは夜目が利き
暗闇でも大体見えているが
松明などの明かりを積極的に
使用している群れもある
燭台は粘着性の植物などから作られる

ひとくくりに人と言っても様々な種族があるがオークにとっては等しく雌は孕み袋である

あなた達あまり遠くに行ってはダメですよー！

平気だって先生！

俺らこの森慣れてるし！

以前この辺りにもモンスターが出たらしいが…

その時はその…あなたがいますし…

ん…そうだな…

先生またいちゃいちゃしてるー

ち ちがいますよ！

あなた達どこでそんな言葉覚えたの！

オークにとって上等なメスは頑丈で健康な娘ではあるが小柄な種族はより御しやすいため積極的に「小さい者たち」を襲う群れもある

せ せんせぇ…っ

ひ…ひっ

あ あなた達先生が注意を引くから…

ぱっ

ぱっ

は…走って!!

ダッ

ダッ

……っ

ズッ

ズッ

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

あ……

……

オークは敏捷性に少々難があるがスタミナは十分であり疲労で行動不能になることは少ない

体力を徐々に消耗するような持久戦は悪手になりやすい

道が入り組んだ森の中などではやがて追いつかれてしまうだろう

ドスドスドスッ

ド

ド

ド

ド

はっ

はっ

んぁ…っ！
ガッ
どたっ
痛……っ
う……っ
あ……
いやあああぁっ!!
ばたばた
やだ やだっ！
ばた
なに…!?
気持ち悪…っ
こわい…ひっ
ばた
ぐぐっ
ぐぎっ
ぐぎっ
ばた
ズボっ

いや…！
プキュ…
やだ！助けてママパパ…ぁ…
ひぎっ
みぢっ
ずっ
ぶぢ
ぶぢ
ぎ…っ
はっ
はっ
ズン
ゴッ
ゴッ
ゴッ
ゴキュ…ッ
みぢっ
みぢっ
おがぁぁぁぁぁぁっ!!!
ぎっ
ハッ
ハッ
ぎっ
ぎぐっ
がっ
ずっぽ
ばちゅっ
ばちゅっ
ずっぽ
ぎぐっ

ぶぎっ!?
どくどくどくど

ぁ……あぁっ!!

……っ

ぎ…

ビルッ

ドクッドク♡

ドクッ♡

ビュクッ

ぎ…っ

おっ

オークの狩りは
人であれば種族を問わない
ハーフリングやエルフ等
対象は多岐にわたる

しかし獲物が多い時は
オークも繁殖に適した
より生命力の強い雌を
選んで自分のモノにする

ブピッ

ブピュ

プギィィッ

あぁ――…

う……

は

は

は

ゴプ…♡

ドクっ♡

あ……

…残ったのは
この子だけか…？

あ……

数が十分な場合
運良く攫われずに
残される娘もいるが
大抵の場合
「使用済み」であり
ぼろぼろになって発見される

状況的にそのほとんどが
生命力の弱い
特に幼い娘たちであるため
命が助かる事は稀である

後は……

くそ…っ

生き残っても一度幼い身体に
オークの精を受けた少女は
成人女性でもそうであるように
普通の状態ではなくなってしまう

……

自分がされたことを
理解し始める頃には
豚の種に汚された子宮の
疼きは限界になり
小さな体を発情させ
自分を制御できなくなる

はっ

ぞぞ…

はっ

もぞ…

ここ…獣臭い
おちつく…

ん……っ

ん……っ

ん……？

ガサッ

おめぇ
うちの家畜小屋で
何してんだぁ？

びくっ

あ…ち 違うの
おじさん
あの…その…

……

あ…あのね
おじさん…

私……

ドクン

ドクン

ぎゅっ♥

はぁ…はぁ
おじさん
好き…これ好きぃっ

なかぁ
なかにだしてぇ
あの時みたいに…

ちょうだ…い…

ちゅぷっ

ちゅぶっ

ぱっ♥

あっ♥

んっ♥

ぴゅっ

ドプッ

どくっ

はぁ…はぁぁ…
いっぱい出たねおじさん…♥

にちゅ…

くちゅ♥

ア♥

ア♥

ア♥

ア♥

えへ…えへへ…
赤ちゃん
できるかなぁ♥

どろぉ♥

ズプ…ッ

くちゅ♥

運が良い事に
この少女は
人間の母に
なれそうである

しかし再び彼女の前に
オークが現れた時
彼女がケダモノ達に
喜んで股を開く
獣のメスにならない
という保証はない

ちゅぷっ♥

パチ

パチ

オークの殆どは雄であり
そのため外から孕み袋となる
人間のメスを巣に攫ってくる

グブウゥ

ガッ

グッ

しかし雌がいない
わけではない

ブビュウウ

稀に産まれるオークの雌は
産まれた時から巣に閉じ込められ
不自由のない生活の後
群れ共有の孕み袋になる

アァ〜ッ♥

ハッ

ハッ

ハッ

ア…ひァ♥

オークは森の民が呪いを受けた姿であるという俗説があるが雌オークの姿かたちを見るにその説にも一定の信憑性があるかもしれない

基本的には人間の女性の因子が濃くでており見目は獣人のそれにも近い

しかしその扱いから知能は赤子同然であり長生きはできない

ひたすら雄の豚男共とまぐわい死ぬまで彼らの子を産み続ける

アッ♥

ハッ♥

ア♥

ズブッ♥

ズブッ♥

ブチュ♥

グチュ♥

扱い自体は攫われてきた人間のメス達とさほど変わらない

おっ♥

おっ♥

ばちゅっ♥

ばちゅっ♥

おほっ♥

ズブ♥

ドチュ♥
びくっ
ドチュ♥
んんーーーっ♥
はっ♥
はっ♥
はっ♥
はーー♥
はーー♥
はーー♥
びくっ
あっ♥
あっ♥
ズッ
ズッ
ズッ
あ…♥
んっ♥
んっ♥
んんっ♥
ふぁっ♥
あっ♥

はっ
ぎゅぐっ
みぢっ
みぢっ
みぢっ
ぎっ
はっ
はっ
びくびくっ
ずりゅうんっ♥
じょろろっ
びしゃ
びしゃ
産まれてくるオークに
個体差はあまりない
しかし極稀に
産まれながらにして
強靭な肉体を持つ
特殊なオークが人の股から
産み落とされる事がある
もぞっ
もぞっ

それらは
オークキングや
オークロードと呼ばれる
存在となり
通常のオークとは一線を画す
戦闘能力を持つ

ちゅぷっ
んぐんぐ
あ…
はは…
い…いひひひひっ

研究者や魔術師の間では
オークの精液を利用した
媚薬の開発が進んでおり
そのため生け捕りにした
オークは一定の値段で
取引される

骨や肉はほとんど二束三文だが
一部の臓器を加工したものは
珍味として珍重されている

また生殖器はたとえ
切り落とされたモノであっても
媚薬研究の糧になるのか
一定の値がつく

オークの巣を討伐した際
捕えられていた娘らは開放されるが
正常な意識を保ってない者も多く
社会復帰は困難を極める
オークの精液 またその性交には
強烈な催淫効果と依存性があり
更に長く彼らの苗床となった
娘達は身体の性質そのものが
オークの子を孕みやすい形に
変質してしまうと言われている
そのためたとえ
助け出されたとしても
人間的な日常生活に戻るのは
非常に難しい

町や村で暮らす
救われた娘たちは
一見正常に見えるが
身体に深く刻まれた
豚男共の痕は消えない

その殆どは
救いようのない
色情狂(ニンフォマニア)と化しており
獣のような交わりを
心の底から願っている

既にオークの子を出産した等
心の底に性交以上の何かが
根付いてしまった者は
人の世にいることすら難しい

！

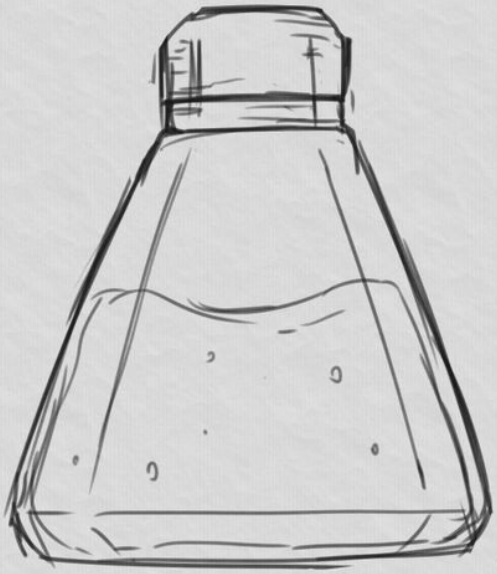
そのような娘達は
新しいオークの存在を
感知すると
自ら彼らの中に身を投じ
二度と人里には帰らない

どれだけ殲滅しても
オークの群れが消えないのは
こうやって人間社会の中に
種が残り続けてしまうからである

出生直後から数年人間に育てられたオークの雌

まだ生育していない雌オークを
捕らえる事ができる機会は極めて稀であるが
権力者の中にはそれをペット感覚で飼う悪趣味な愛好家も存在する

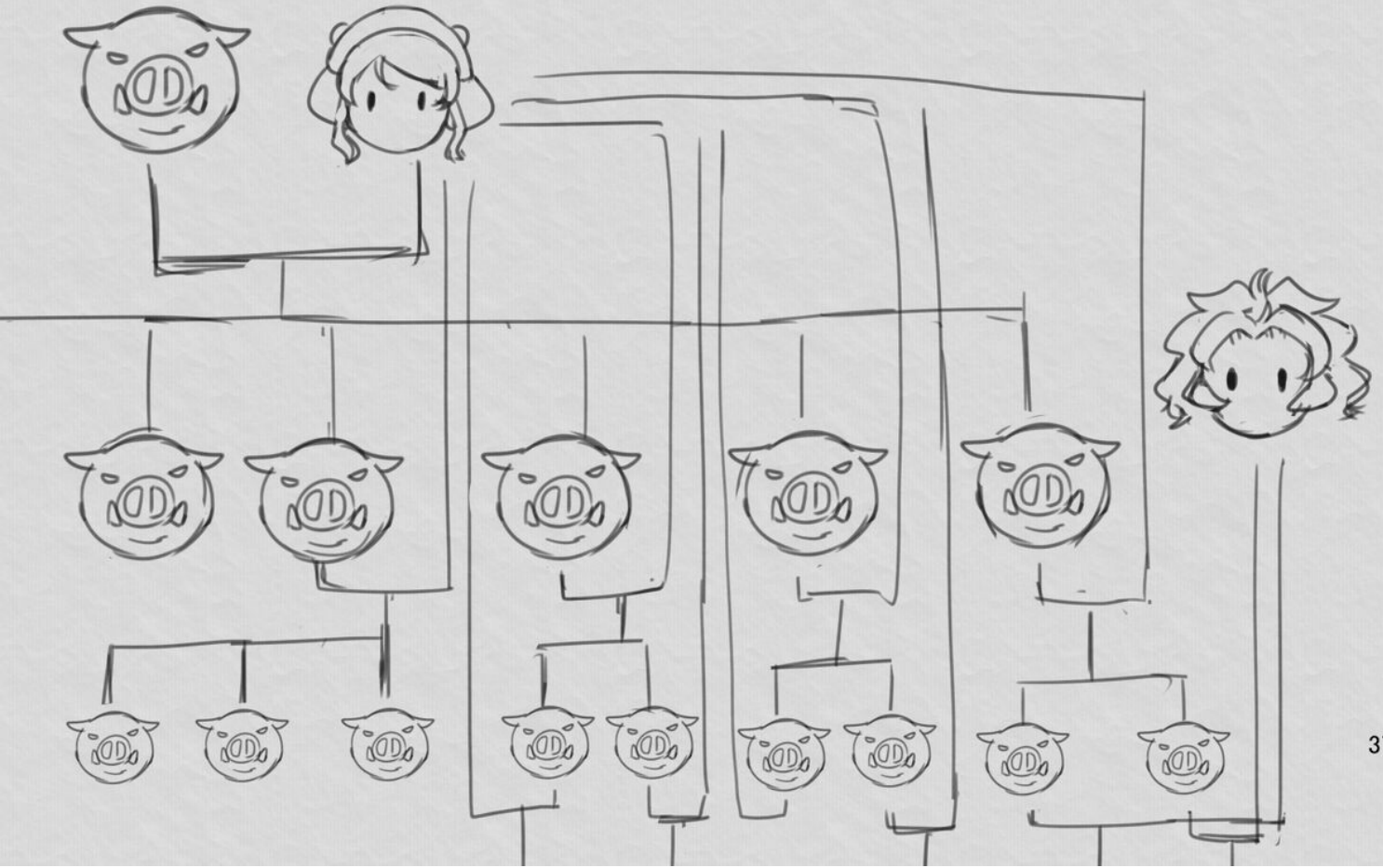
気性は穏やかで知能は幼児程度までは期待できるとの事



オークの体液を材料にした媚薬の試作品

時価

とあるオークの群れの家系図



誌名
幻想妖媚録　オーク

発行元
HellDevice
http://red.ribbon.to/~nalvas/main.html

発行日
2022年8月14日　コミックマーケット100

印刷
ねこのしっぽ

※未成年者の閲覧、および無断転載、複製を禁じます

presented by
HellDevice